

6月です。そろそろ梅雨入り。そして、そろそろ団内発表会の選曲はきまりましたか？
筆者はこの時期に喉をやられてしまいました。

TOPICS
今月号の話題です

今月の練習予定

団内発表会について

音の祭典の楽曲について

GENERAL PAUSE

今月の練習予定

6月の練習予定です。

月	練習日	合奏の時間	曲目
6月	6日	19:30~21:00	アパラチアン序曲→ロマネスク・K点を超えて
	13日	19:30~21:00	団内発表会の練習
	20日	19:30~21:00	ロマネスク・K点を超えて→アパラチアン序曲
	27日	19:30~21:00	団内発表会の練習
7月	4日	19:30~21:00	アパラチアン序曲→ロマネスク・K点を超えて
	11日	19:30~21:00	団内発表会の練習
	14日		音の祭典の練習

・合奏が始まるのは19:30からです。

遅れて参加する場合は、速やかに楽器を用意し、演奏が止まった時に静か合奏に参加してください。
廊下でのウォーミングアップは、合奏中の指示が聞こえなくなりますので、ご遠慮ください。

・音の祭典の日程

2019年11月10日

指揮はフィルハーモニックウィンズ大阪 トロンボーン奏者 河毛博子先生の予定です。

団内発表会について

今年も団内発表会を行います。

2019年7月14日 男山公民館 (18:30からは、打ち上げ・懇親会を予定しております。)

パートアンサンブル、同属楽器のアンサンブル、変則アンサンブル、いろいろな形態でのアンサンブルを披露してください。なお、エントリーの方法は、改めて企画係さんから案内があるかと思います。

音の祭典の楽曲について

前回は、楽曲解説を簡単に書きました。アパラチアン序曲について、先月書いた楽曲解説とは別に、もう少し詳しく触れたいと思います。

アパラチアン序曲

作曲：ジェイムズ・バーンズ

楽曲形式は、ABAの複合三部形式で書かれ、主部Aにおいてもaba'と新芽トリックに書かれている。民謡風主題aが、シンコペーションを含みリズムを前面に押し出した総奏の伴奏に乗って奏され、アメリカの五音音階（ドレミソラ）を軸に、西部劇の音楽を連想させるアメリカ五度の響きを経ながらちから強く提示される。続くセクションでは、リズムの要素を控え、しなやかに宙を舞わんばかりのメロディアスな第2旋律bが対位的処理されaとbは対照的に奏でられるが、ドレミソラの五音音階で開始することで有機的に統一されている。その後再びa'が対旋律を伴って現れ、テンポを落とすと中間部Bとなるが、子守唄のような性格の違う旋律で鮮やかに対比させながらも、Bも五音音階を基調とすることで、短い作品の中に対比と統一感という1つの大きなパノラマとして見事な弧を描き、再現されるA'に紡いでゆく。終結部直前に短く中間部Bのテーマを総奏で一気に回想させるアイディア盛り込まれ、曲はより強大な終始力を得て完結する。

<出典：ウインドカンパニー管楽オーケストラ プログラムより>

<了>

6月の演奏会情報

宇治シティーフィルハーモニー
第74回定期演奏会
2019年6月30日（日）
14:00開演
宇治市文化センター
大ホール

練習にあたり

- ・今練習しているフレーズが何調なのか、自分が何の和音の何音(主音・3音・5音)を演奏しているのか理解しているかしていないかで、音の並びや曲のスッキリさが変わってくると思います。
- ・同じリズムやメロディの吹き方をしている人の音を良く聞いて、どんどん真似をしていきましょう。

～～編集後記～～

連休中。あるスクールバンドの定期演奏会を聴きに行ってきました。筆者が高校生の頃は、八幡市文化センターで公演をしていた演奏会ですが、今はシンフォニーホールで公演をしています。

プログラムを見てびっくり。昔流行った「ローマの祭り」がメインプログラムでした。

今回の祭典でアパラチアン序曲を始め、懐かしい吹奏楽曲を演奏しますが、たまには懐かしい曲も演奏したいものです。